

功 績 概 要

【学校医】

○矢倉 政則（やくら まさのり）

氏は、昭和62年から現在までの37年間、長きにわたり学校医を務め、現在は、特別支援学校伊賀つばさ学園を担当している。健康診断・健康相談等の健康教育活動を通し学校保健の発展に寄与した功績は大きい。さらに伊賀つばさ学園では、インフルエンザ、コロナ等の感染症の増加傾向時には、定期的に連絡をとり、細やかな指示・指導を行っている。

○平井 誠一（ひらい せいいち）

氏は、平成元年5月から現在までの35年間、長きにわたり学校医を務め、現在は、伊賀市友生小学校を担当している。また、長年の学校医、園医の経験から学校保健が、地域医療の充実を図る上で極めて重要な役割を占めると考え、生命を尊重する意識を育て、健康で安全な生活のための実践力の育成等、総合的な学校保健活動を地道に実践している。

【学校歯科医】

○大矢 孝臣（おおや たかおみ）

氏は、昭和62年4月から現在まで32年間、長きにわたり学校歯科医を務め、現在は、県立上野高等学校を担当している。児童生徒のう蝕予防、指導に関心も深く、ビデオ等を使用して、う蝕予防の重要性をわかりやすく説明する等、口腔衛生の普及と向上に力を注ぎ功績を残している。さらに、歯の衛生週間には、歯の無料健診と相談などを実施し、予防と口腔衛生知識の向上に尽力している。

○大井 清（おおい きよし）

氏は、平成9年から現在まで27年間、長きにわたり鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校の学校歯科医を務めている。生徒のう蝕の予防、う蝕の早期治療の徹底等、学校関係者との連携のもと、口腔衛生の普及と向上に力を注ぎ功績を残している。また、一般社団法人鈴鹿歯科医師会理事、専務理事、副会長として、歯科保健図画・ポスターコンクール等の開催に携わり、歯科保健の重要性と認識を深める活動の展開に尽力している。

【学校薬剤師】

○松島 啓（まつしま あきら）

氏は、昭和62年から現在まで37年間、長きにわたり学校薬剤師を務め、現在は、津市立一志東小学校をはじめとした5校を担当している。また、教室内の化学物質の検査及び指導に取り組むなど、より良い学習環境づくりに貢献している。さらに、「くすりの正しい使い方教室」を担当校で開催し、児童が薬物乱用について学び、正しい知識が身につくよう指導に尽力している。

○杉本 守之（すぎもと もりゆき）

氏は、平成8年4月から現在までの28年間、長きにわたり鈴鹿市内において学校薬剤師を務めている。飲料水及びプール水の水質検査や照度検査を的確に行い、衛生的で安全に園児児童が使用できるよう、よりよい環境づくりに努めるとともに、教室内の空気中の化学物質（シックハウス症候群）の検査及び指導にも取り組み、学校施設設備の環境衛生の向上に力を注いでいる。